



# 諏訪台中だより

令和5年2月6日  
荒川区立諏訪台中学校  
学校だより 第11号

## 勤労留学を実施しました

校長 代市 利光

1月30日から5日間、2年生が近隣地区の企業や事業所の協力を得て、3年ぶりに勤労留学を実施しました。新型コロナウイルスやインフルエンザ流行の兆しもありましたが、無事に5日間実施することができました。「今ある仕事の49%が、10～20年以内に、AIの導入で失われる」という研究発表があったのは、7年前のことです。このような未来が予測される中、直接働く人と接して実際に知識や技術・技能に触れ、知見を広げることは、学ぶこと・働くことの意味を理解するうえで大変重要な機会でした。未だ感染症の心配がある中、諏訪台中の生徒たちを受け入れてくださり、学習する機会を提供していただいた企業・事業所の皆様、担当者の皆様には、心より感謝申し上げます。

「何のために働くのか」内閣府が実施した令和3年度「世論調査」によると、「働く目的は何か」という質問に対して、「お金を得るため」の回答が56.4%、次いで「生きがいを見つけるため」が17%、「社会の一員としての務めを果たすため」が14.5%、「自分の才能・能力を発揮するため」が7.9%で上位を占めました。社会的に自立するために、働いて得た収入を生活基盤とし、さらに職場や仲間と円滑な関係を築きながら職責を果たすことは、国民の務めです。しかし、「働いて収入を得る」ということは、言葉でいうほど楽なことではありません。毎日働くということは、時には夜遅くまで仕事をしなければならなかったり、体力的・肉体的につらい仕事もあったり、精神的に厳しい仕事もあります。安定した収入を継続して得るためには、このような苦労や困難を上手に乗り越えたり、解決して働いていくことが大切です。そのためには、進路や将来の自分について考えを深められる中学生である今の時期に、物事をやり遂げる責任感、その時々感情に流されない忍耐力や決断力、周囲の人と適切な距離間をもって関わっていく人間関係調整力、などを身につけることが必要です。職場体験や勤労留学のような機会に、それらの基礎となる「素直な心」「前向きな心」「強い心」といった社会人としての基盤を身に付けてほしいと思います。

学校は、社会に出るための準備をするところですから、日々の学校生活を将来の社会生活と置き換えてみると、毎日自分の身の回りに起こる様々な出来事や経験がこれからの生き方の肥やしになります。「働き方は生き方になる」などと言われることがあります。このような機会に、自分の5年後、10年後の姿を想像し、今をどう過ごすべきかを考えてみましょう。



洋品店での活動の様子



こちらは生地屋さん。生地からドレスの仕立もするそうです



体験先が定休日の人は学校で体験します。左は用務主事さんの下でコンセントカバーづくり、右は図書館で司書さんと書架の清掃整理をしています





## 荒川区立中学校連合展示会

1月20日(金)から23日(月)まで、町屋文化センターで連合展示会が開催されました。前週の本校文化祭展示の部で披露された作品の中から選ばれた作品が出展されました。



## 三町会合同避難拠点開設訓練を実施しました

1月21日(土)に西日暮里二丁目町会、西日暮里五丁目町会、真土町会の三町会合同で避難拠点開設訓練を行いました。本校からも防災部が参加し、スタンドパイプ設営の説明や実演を披露しました。当日は風が強く、気温がかなり低い状況でしたが、近隣からの参加者とともに、予定どおりペット同伴避難や備蓄庫についての確認ができました。



### 2月 主な行事予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	水	勤労留学(2)~3日(金)まで	14	火	都公立学校美術展覧会~19(日)
2	木	都立推薦発表	16	木	避難訓練
3	金	校内ハロワーク(1)	17	金	第2回数学検定 てらこや
4	土	学校公開 新入生保護者説明会	20	月	てらこや
6	月	朝礼 常任委員会	21	火	都立一次・前期学力検査 てらこや
7	火	漢検直前模試	22	水	職員会議
8	水	荒教研	23	木	天皇誕生日
9	木	歯と口の健康づくり⑤⑥(1) 中央委	24	金	学年末考査
10	金	第3回漢字検定	27	月	学年末考査
13	月	生徒会朝礼 安全指導	28	火	学年末考査